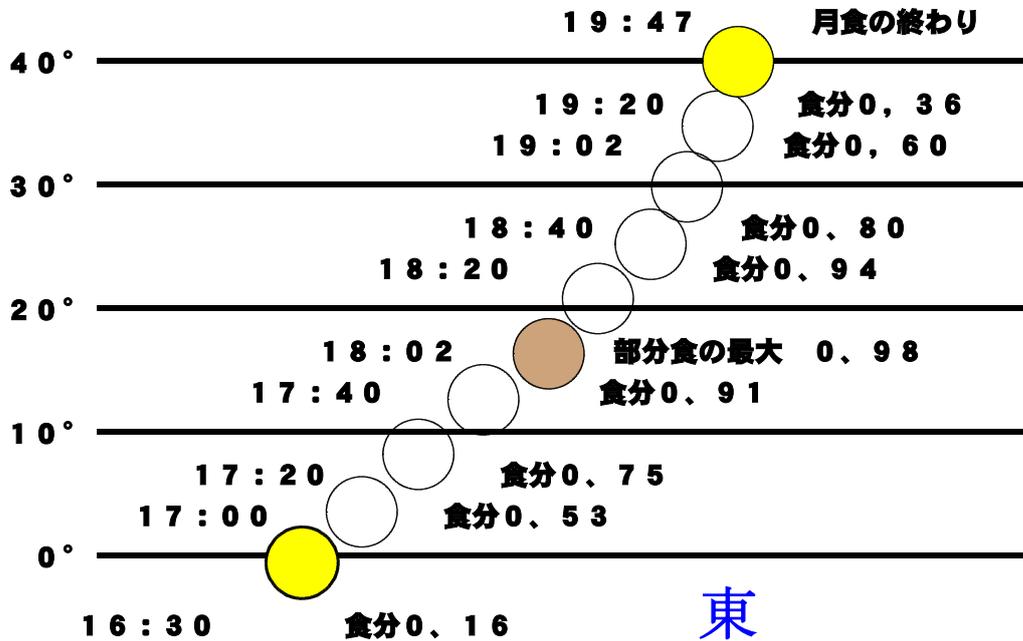


部分月食をみよう

令和3年11月19日（金曜日）



東

11月19日の夕方16時30分ごろから、欠けた月が東の空から登ってきます。東の空を登りながら満月がゆっくりと欠けていきます。

それから約1時間後、夜18時2分ごろに部分月食の最大を迎え98%が地球の影に入り赤銅色の丸い月が見えます。夜19時47分ごろに「部分月食」が終わり、再び満月へと戻っていきます。

月食は、始めから終わりまで3時間以上の長丁場。秒単位の瞬間的な見どころはないので、ときどき見て確かめるだけでも見ごたえがあります。

その中でもとくに注目したいハイライトが、月が赤く染まっていくところ。月の大部分が欠けてくると、影になったはずの部分が赤みを帯び、やがてほとんどの部分が赤銅色に染まった月が姿を現します。刻一刻と進んでいく色の変化はとても神秘的。食の最大の時刻は18時2分なので、前後20～30分かけてじっくりと見届けましょう。

地球の大気の状態などにより月食ごとの明るさや色も微妙に違うので、スケッチやメモで記録を残しておくといよい記念になります。○の中に欠けている月の形を書き込んでみましょう。

※ 食の最大の時刻には暗くなった月の左側にスバル（プレアデス星団）を見つけてみましょう

観測の注意

東の空が開けた庭・ベランダ・空き地など安全な場所で、できるだけ大人と一緒に温かい服装で観測しましょう。

秩父宇宙ファンの会